

令和 8年度 桃ヶ丘小学校区地域協議会事業計画

時期	内容	概 要
通年 (月例)	役員会・ 各部会	<p>【役員会】 総会の開催準備、各部会間の報告及び情報交換、地域づくりの会合、地域協議会のPR及び各委員の募集を行う。</p> <p>【防災・防犯部会】 学区防災訓練の開催に向けた打ち合わせ、行政や小中学校、自主防災組織と連携した避難所運営体制の検討、地域防災力の発展に資する事業を行う。</p> <p>【健康部会】・・・名称を交流部会から健康部会に更しました。 桃ヶ丘小学校区「スポーツフェスティバル桃ヶ丘2026」の打合せ 地域住民の絆づくりに関する事業を行う。</p> <p>【福祉部会】 桃ヶ丘小学校区福祉増進に繋がる事業の検討、発展に資する事業を行う。</p> <p>【環境部会】・・・廃止しました。</p> <p>【多文化共生部会】 桃陵中学校外国籍生徒との交流を深め、お互いの理解促進に繋げる。</p> <p>【交流部会】・・・名称を農園部会から交流部会へ変更しました。 桃ヶ丘小学校の空地に作った農園で、サツマイモ掘りの学習支援を行う。 あおぞら市場を定期的で開催し、農協、地域の農家等に積極的に関わる。 新しく、フォークダンス等を通じてコミュニケーションを図る。</p>
【防災・防犯部会】		
10月18日	学区防災訓練	地域の各区関係者、行政機関、役員等を入れた学区防災訓練を行う。
通年	防犯パトロール	学区の防犯を高めるため、夜間パトロール並びに啓発活動を実施します。 桃ヶ丘1・2・3区、古雅4区において実施する。
【健康部会】		
通年	地域交流 イベント	桃花台まつりは、区長会の実行計画をみて参加者を決める。 スポーツフェスティバルに参加・協力すると共に児童との交流を深める。
【福祉部会】		
通年	サロン活動	校区内の6サロンの活動を通じ桃ヶ丘、古雅、城山地区の中高年の憩い及び集いの場として、活動を充実・発展させ「仲間づくり」の構築を図る。
【環境部会】		
	廃止しました	
【多文化共生部会】		
通年	交流座談会	桃陵中学校において、外国籍生徒と役員・行政職員間でテーマをきめて、交流座談会を行う。
【交流部会】		
年2回	あおぞら市場 学習支援	あおぞら市場を開催し、農協、地域の農家等に積極的に参加して頂く。 桃ヶ丘小学校の児童とサツマイモ掘り等の学習支援を行う。
適時	フォークダンス	地域住民と小中学校の生徒達とフォークダンスを通じて楽しく語らいながらコミュニケーションを図って行く。

## 令和8年度桃ヶ丘小学校区地域協議会収支予算（案）

### 収入の部

（単位：円）

科 目	令和7年度	本年度	前年度比	説 明
地域助け合い交付金	2,020,000	1,971,000	△ 49,000	地域づくり事業費 1,350,000
				協議会運営経費 321,000
				事務員人件費 (0)
				委員活動費 300,000
合 計	2,020,000	1,971,000	△ 49,000	

### 支出の部

（単位：円）

事 業	科 目	令和7年度	本年度	前年度比	説 明
地域づくり 事業費	課題解決型 事業費	650,000	550,000	△ 100,000	学区防災訓練 100,000
					防犯パトロール 50,000
					サロン交流事業 200,000
					あおぞら市場事業 150,000
					多文化共生交流会 50,000
	交流促進型 事業費	770,000	800,000	30,000	校区交流イベント 200,000
				スポーツフェスティバル 220,000	
				スポーツ教室 80,000	
				フォークダンス事業 300,000	
	小 計	1,420,000	1,350,000	△ 70,000	
協議会 運営経費	食糧費	20,000	20,000	0	各種会議時のお茶代等
	消耗品費	140,000	180,000	40,000	一般事務用品等
	備品購入費	0	0	0	
	印刷製本費	39,000	20,000	△ 19,000	会議資料のコピーや印刷代等
	通信費	0	0	0	
	使用料及び 賃借料	36,000	36,000	0	事務所の賃料等
	手数料	10,000	10,000	0	振込み手数料
	謝礼	55,000	55,000	0	監事謝礼等
	小 計	300,000	321,000	21,000	
事務員人件費	事務員人件費	0	0	0	
委員活動費	委員活動費	300,000	300,000	0	役員・運営員等の活動費
合 計		2,020,000	1,971,000	△ 49,000	

※地域づくり事業費については、「課題解決型事業費」及び「交流促進型事業費」のそれぞれの科目内でのみ、過不足の流用を行うことができる。